

第3回富津市史跡内裏塚古墳群保存活用計画策定委員会 会議録

1 会議の名称	第3回富津市史跡内裏塚古墳群保存活用計画策定委員会
2 開催日時	令和8年7月13日（月） 13時30分～15時30分
3 開催場所	富津市役所 502 会議室
4 審議等事項	議題 (1) 保存活用計画案の内容について
5 出席者名	(委 員) 笹生 衛、小澤 洋、杉山 林繼、赤坂 信、阿部 貴弘、 加藤 文男、御巫 由紀、小泉 雅弘 (オブザーバー) 岡山 亮子 (事務局) 篠田 優子、牧野 啓介、佃 沙奈、中村 文洋、 大木 颯太郎
6 公開又は非公開の別	☒ 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	-
8 傍聴人の人数	1 人（定員 5 人）
9 所管課	教育部 生涯学習課 文化係 電話 0439-80-1342
10 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

発言者	発言内容
篠田課長	皆さんこんにちは。皆様方におかれましては、ご多用のところ、本委員会会議にご出席を賜り、誠にありがとうございます。 本日の進行を務めさせていただきます、生涯学習課長の篠田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。 先日、皆様へ本計画案の第1章から第4章までの資料を送付させていただき、ご意見を頂戴いたしました。いただいたご意見につきまして、計画に反映させていただくもの、また、本日ご審議いただく内容もありますので、皆様方には、忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。 また、本日、富津市史跡内裏塚古墳群保存活用計画策定委員会設置要綱第7条の規定により、オブザーバーとして、千葉県教育庁教育振興部文化財課の岡山様にご出席いただいております。 それでは、会議に先立ちまして、担当より配布資料の確認をさせていただきます。
牧野係長	資料確認
篠田課長	それでは、ただいまから、第3回富津市史跡内裏塚古墳群保存活用計画策定委員会会議を開始いたします。 はじめに、笹生委員長よりご挨拶を頂戴いたします。
笹生委員長	笹生委員長挨拶

篠田課長	ありがとうございました。 次に、本日の出席状況ですが、出席委員 8 名、欠席委員 1 名です。従いまして、本委員会設置要綱第 6 条第 2 項の規定により、過半数の委員の出席をいただいておりますので、会議が成立いたします。 また、本日の会議は、富津市情報公開条例第 23 条第 1 項により公開となります。なお、本日の傍聴人は 1 人です。本日の資料のうち、計画（案）につきましては、会議終了後に回収させていただきますので、ご了承ください。 また、会議録調整のため録音をさせていただきますので、ご了承願います。 それではここで、本会議の議長についてですが、本委員会設置要綱第 6 条第 1 項の規定により、「委員長が、会議の議長となる。」となっておりますので、これよりは笹生委員長に会議を進めていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
笹生委員長	それでは議長を務めさせていただきます。 はじめに本日の会議の会議録署名人を指名させていただきます。会議録署名人には、赤坂委員、阿部委員をお願いいたします。 それでは、これより次第 3 の議題に入りたいと思います。 議題（１）保存活用計画案の内容についてですが、ボリュームが多いため、章ごとに事務局から説明をいただき、委員・オブザーバーの皆様から意見を頂戴したいと思います。それでは、序章、第 1 章について、皆さんからの事前意見への対応を含めて、事務局から説明をお願いします。

牧野係長	それでは事前に郵送で送らせていただきました保存活用計画案に沿いまして、皆さんの方からいただきました意見を【資料 1】事前送付資料への意見集計の方にまとめさせていただきました。 こちらの方では、項目として、全体を通じてという項目と、序章とそこから第 1 章から今回第 4 章に分けて項目作らせていただいております。 ○全体を通じて 意見：参考文献の記載について 対応：【別紙 1】のように参考文献を各章末に、今後記載します。図版引用についても、その都度明記します。 意見：パワーポイントで作成されたポンチ絵の色調を押さえたかどうか。 対応：色調を弱くして再度作成します。 意見：富津市の古墳の位置関係が掴みづらいので、古墳の図面を個別に表示する際には何らかの工夫をしたらどうか。 対応：拡大図と詳細図の併記を検討します。 意見：地図の方位表示が 41 頁と 42 頁で異なっている。 対応：方位表示を統一します。 意見：写真について説明が入っている箇所と入っていない箇所があるので、写真には必ず説明を加えてください。 対応：写真に通し番号をふり、説明を加えます。 意見：キャプションの統一や出典の明記について。 対応：修正し、次回以降反映します。 意見：姓名の間を一文字あけるかどうか。 対応：第 1 章第 4 節のみあけて、本文中はあけないで統一します。
-------------	--

	○序章 意見：表題の「富津市史跡内裏塚古墳群保存活用計画」の表記が市史跡と混在するのではないか。 対応：表題のタイトルの富津市と史跡の間にスペースをあけて「富津市 史跡内裏塚古墳群保存活用計画」に修正します。 ○第1章 意見：P6・3段落目・3行目の「埋葬慣習」は一般的語句か。 対応：「埋葬施設」に修正します。 意見：P7・第2節・4行目の「史跡化」はあまり使われないので「史跡指定」が一般的語句か。 対応：「史跡指定」に統一します。 意見：P7・赤字1行目の「古墳の一部を含むが史跡指定されていない筆の範囲」はわかりにくいのではないか。 対応：「史跡指定されていない筆の範囲」に修正します。 意見：P10を令和8年度に更新してください。 対応：【別紙2】のとおり更新します。 意見：P11の欄外、令和9年だけではなく、西暦も併記してはどうか。 対応：令和9年(2027)に修正します。 意見：P13・4行目の千葉県内の史跡の件数の標記を特別史跡と史跡に分けて標記してはどうか。 対応：修正します。 意見：P13・4行目の「千葉県文化財保存活用大綱」で内裏塚古墳群を「重要なもの」として位置づけているか確認。 対応：「千葉県文化財保存活用大綱」の64頁、国指定史跡一覧表の中に「内裏塚古墳」の記載がありますが、令和5年1月策定のため「内裏塚古墳」のみとなっているので、今後この計画の中で、どのように表記していくかを協議して決めます。
--	---

笹生委員長	意見：P15 の表中の文字が小さすぎるので改善したらどうか。 対応：余白を減らす等して改善します。 意見：P16 の市総合戦略に、内裏塚古墳群整備事業が入っている記述がありますが、該当部分が見つかりません。 対応：第3期富津市まち・ひと・しごと・創生総合戦略実行計画（2026年3月改訂版）から新規で施策に入れているため、【別紙3】のとおり修正します。 意見：P17・（3）4行目の市教育政策の展開施策「多様な文化にふれ親しみある」は「多様な文化に親しむ」の表記のほうが良いのではないか。 対応：「多様な文化にふれ親しむ」に修正します。 意見：P17・（4）のマスタープランに、古墳の里ふれあい館の情報発信が入っている記述がありますが、該当部分が見つかりません。 対応：『富津市都市計画マスタープラン』の4-26 ページ、「8.潤いのある都市づくりの方針」の「歴史と伝統が息づく景観の保全・継承」の中に記載されています。 意見：P19・（2）の地形や地質の項目で砂丘の形成について記述を入れた方が良いのではないか。 対応：第3章第1節（古墳群の立地と環境）で後述するため、簡略に記載します。また、P54－図15を現状案とし新規オブザーバーと調査を進めます。 以上で序章、第1章についての説明となります。 ただいま、序章、第1章について事務局から説明がございました。まずは章ごとに区切って議論したいと考えております。この件につきまして、委員の皆さんから、事前にいただいた意見への対応も含めて、意見がありましたらぜひお寄せいただきたいと思います。いかがでしょうか。
--------------	---

	よろしければ時間も限られますので、先に進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。
委員一同	異議なし
笹生委員長	私の方から一言、小糸川流域の遺跡の分布については私が 20 年前論文を書いており、弥生から現在にかけて集落分析をやっております。ぜひそちらもご参考にいただければと思います。よろしくお願いします。 続きまして、第 2 章について事務局から説明をお願いします。
牧野係長	○第 2 章 意見：P22 の都市計画法以外の他法令の該当はありませんか。 対応：他法令による規制などもあるため、第 5 章の現状と課題で記載します。 以上で第 2 章の説明となります。
笹生委員長	ただいまの説明について、委員の皆様、ご質問等ございますか。
小澤副委員長	P22 の図の古墳の位置が見えづらいので、もっとはっきり見えるようにしていただきたいです。
牧野係長	もっと見やすいように修正します。

笹生委員長	他にいかがでしょうか。 ないようですので、第3章について事務局から説明をお願いします。
佃副主査	○第3章 意見：P26の一覧表の字が小さく解読ができないので、地図として機能するように改善したらどうか。 対応：地図中の一覧表を削除し、P27の表2 富津市指定文化財一覧と番号がリンクするように修正します。 意見：P27の表2の年号表記をP37のような年号表記にするのは可能でしょうか。 対応：指定年月日を示すため、現状の表記で検討しております。 意見：P27の表2を最新の指定文化財一覧に変更してください。 対応：最新版に修正します。 意見：P32・（2）1行目の「石櫛の蓋の如き巨石」は引用ですか。 対応：原文「頂上平坦巨石アリ石櫛ノ蓋ノ如シ」のため「」はつけていません。 意見：P36のこれまで調査して、何がわかったのか、まとめの項目が必要です。 対応：【別紙4】のように作成したものを記載します。 意見：P39にある表5の史跡に至る保護の経緯を文章として記載してください。『マネジメント支援事業報告書』P166の「指定に至る経緯」です。 対応：【別紙5】のように作成しました。第3章第1節を「指定に至る経緯」として追加します。 意見：P41の本質的価値を示す図面は無理に出さなくてもよいのではないか。

	対応：各古墳の概要で平面図と出土遺物は出したいと考えています。意見具申書に添付した図面となっていますが、どの実測図や写真が必要なのか、委員の皆様からご教示していただきたいです 以上で第3章の説明となります。
笹生委員長	ただいまの説明について、委員の皆様、ご質問等ございますか。
赤坂委員	表の文字が全体的に小さいので、もっと見やすくわかりやすくしたほうがよいのではないのでしょうか。
佃副主査	見やすいように修正いたします。
笹生委員長	他にいかがでしょうか。
小澤副委員長	事務局の説明の際に、第○章第○節と説明された時にすぐに探せないで、頁の右上に第○章第○節と示してもらいたいです。
加藤委員	文化庁に「富津市 史跡内裏塚古墳群保存活用計画」を提出した後、どのように使用していくのですか。
牧野係長	こちらはですね実際に計画書として作成しまして、文化庁に提出した後は、一般の方でしたり、様々な関係機関の方に見ていただくような活用をしていく方針です。

加藤委員	子供や文化財にあまり詳しくない人に読んでもらうには、非常に難しい内容で読みづらいので、改善していただきたいです。
小澤副委員長	古墳の説明と図が離れているので、見開きの頁や1頁にまとめると、見やすくなると思います。
阿部委員	この報告書は、保存活用計画のための報告書なのかそれとも、何か本質的価値を導き出すための報告書ですか。 何か本質的価値を導き出すための報告書であれば、アカデミックできちんとした報告書にしたほうが良いと思います。
笹生委員長	価値を確認して、その価値を協議したところで、今度はその次の段階の整備計画に入っていくという形になると思います。 今はその価値を共有してその価値に基づいて、どういう方向で整備を進めていくのかという、最初の段階だと思いますので、そのあたりをもう一度、事務局、委員の皆様と確認しておきたいと思います。
小泉委員	委員の中で内裏塚古墳群の地域に住んでいる、小泉委員の方から何かございますか。 正直、文化財に詳しくない人にとってはまったくわからないです。このままで、一般の人に見せるということはまずないと思います。見てもらうということが一番大事だと思われますので、一般の方が引き込まれるような何かが必要だと思いました。
笹生委員長	他にいかがでしょうか。オブザーバー方から意見などあれば、お願いします。
(オブザーバー) 岡山	P42 頁の写真を載せなくても良いのではないのかと思います。この写真では、初見の人にはどれが古墳なのかわからないので、古墳がわかりやすい写真にするか、載せないようにしたほうが良いと思います。

笹生委員長	他にいかがでしょうか。 ないようですので、第4章について事務局から説明をお願いします。
佃副主査	○第4章 意見：指定説明文を箇条書きや項目立てで整理することとなるため、平成14年当初の指定説明文も前章までに記載し、それを含めた内容としたらどうか。 対応：第3章第5節指定範囲の状況で抜粋表記としていますが、平成14年当初の指定説明文も併せて記載します。 意見：P79の「副次的産物」の説明をしていただきたいです。 対応：「副次的価値」に修正し、【別紙6】に説明を記載しています。 意見：P80の計画対象古墳は23基で、このうち15基を抽出しているのはどのような基準か、説明していただきたいです。 対応：「内裏塚古墳群の今後の取扱い区分について」に基づいた基準となっています。 意見：P82、P83の構成要素の分類が細かすぎる気がします。これを基に第5章以降の記載を進めていかれる中で、ここに合わせた保存管理を当て込んでいけるのかどうか、市の中でビジョンが見えているのであれば、このままで大丈夫です。 対応：磯浜古墳群、百舌鳥・古市古墳群、中小田古墳群を参考に作成しました。市街地ということもあり関連するその他要素が多いため、細分をしています。 第5章以降に保存管理を当て込んでいけるかどうかにつきましては、第5章6章と進めていく中で、4章に戻って構成要素を見直してもよいのではないかと考えております 意見：P79③の「墓制の階層性」の言葉をよりイメージしやすい用語に変更したらどうか。 対応：短い用語にせず、「古墳時代中期から終末期にかけて、首長墓を取り巻く中小前方後円墳や円墳、方墳が階層構造を成しており」と説明するように検討します。 以上で第4章の説明となります。

笹生委員長	ただいまの説明について、委員の皆様、ご質問等ございますか。 ないようですので、私のほうから一言いいですか。 本質的な価値の中で、姉崎や木更津の古墳群との比較は当然実施されていると思いますが、そのあたりをもう少し明確に書いても良いのではないかと思います。 それからもう一つ、姉崎や木更津ではわかっていないのに、内裏塚古墳群がわかっていることが、古墳群と小糸川の中流域の集落との関係です。地域構造の中で、地域の小糸川流域がどのようにできたか、村と古墳の関係でよくわかるので、古代の中で古墳が果たした役割がわかるという意味で重要なので、本質的価値に入れてもらおう。そうすることで、今度は整理の中で、君津との連携というのも整備計画の中で重要になってくると思います。例えば、君津の道祖神裏古墳との連携なり、遺物の分析等を進められるのではないかと思います。 そういうような形をこの保存計画の中に入れておくと、少し裾野が広がるのではないかと思います。
笹生委員長	その他何かご意見ありますでしょうか。
御巫委員	地図のことなのですが、関東地域の古墳が載っている地図があると良いのではないかと思います。富津市の古墳の大きさを、他の地域と比べたりすることができ、本質的価値を示すのに繋がると思います。
阿部委員	1～5までの章の順番についてなのですが、重要な章を前にもってきたほうが良いのではないかと思います。
小澤副委員長	古墳時代以前から西方の文化を利用してきた地域であるとありますが、富津市役所のところの打越遺跡が一言も出てこないので入れた方が良くと思います。
赤坂委員	保存活用計画ということなので、歴史的な価値を大事にするだけでなく、現在の生活にどう生かすのかということが求められると思います。

阿部委員	副次的価値についてなのですが、現在、内裏塚古墳群があることで地域にどのような恩恵があるのかを意識して考えると書きやすいと思います。
小澤委員	阿部委員が言われたことに関連するのですが、この地域は関東大震災で壊滅的な被害を受けました。今防災のことで騒がれていて、もし洪水になった時、どこに逃げるのかという一番身近にある高い場所の古墳だと思います。 単に遺跡としてだけではなく、洪水になった際に古墳に逃げられるという防災拠点としての活用方法とかも価値に繋がると思います。
加藤委員	ドローンを使用して、内裏塚古墳だけではなく周りの古墳や市街地、海が見えるような写真を載せたほうが、保存活用計画の内容を理解しやすいと思います。
笹生委員長	その他よろしいでしょうか。 オブザーバーの方から何かありますか。
(オブザーバー) 岡山	先ほどからご審議いただいている、テキストでしたり、本質的価値というところが保存活用計画を作る意義でもあると思うので、地域の人が計画書を見たとき、何がすごいのかということが一目でわかるとよいのではないかと思います。そのための、見出しや図、写真が大切だと思います。
笹生委員長	続きまして、次第の4その他に移ります。 委員の皆様から何かございますか。
委員一同	なし。

笹生委員長	事務局から何かありますか。
牧野係長	第4回の保存活用計画策定委員会につきましては令和8年10月頃予定しております。改めて委員の皆様へ、日程調整のご連絡を取らせていただきますので、ご承知いただければと思います。
佃副主査	江戸東京博物館で「発掘された日本列島展 2026」ということで、内裏塚古墳群の出土遺物が展示されていることを報告させていただきます。 以上です。
笹生委員長	それでは、以上で議長の職を解かせていただきます。円滑な議事進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。 事務局へお返しいたします。
篠田課長	ありがとうございました。本日は長時間にわたりご審議いただき誠にありがとうございました。いただいたご意見をとりまとめ、次回の会議で修正内容等を報告させていただきます。 以上をもちまして、第3回富津市史跡内裏塚古墳群保存活用計画策定委員会会議を終了させていただきます。